

池田町魚見で保護されたヤマネについて

水谷瑞希 *¹

Mizuki MIZUTANI*¹. 2009. Note on the Japanese dormouse *Glirulus japonicus* found at Uomi, Ikeda Town, Fukui Prefecture. **Ciconia (Bulletin of Fukui Nature Conservation Center) 14:29-30.** Two Japanese dormice *Glirulus japonicus* were found in a house at Uomi (WGS84 datum; 35°50'40" N, 136°16'24" E), Ikeda Town, Fukui Prefecture, in November 2009. This is the first record of Japanese dormouse from Ikeda Town, Fukui Prefecture.

Key words: Japanese dormouse, *Glirulus japonicus*, Ikeda Town, Fukui Prefecture.

キーワード: ヤマネ, 池田町, 福井県.

はじめに

ヤマネ *Glirulus japonicus* は本州, 四国, 九州, 隠岐島後に分布する日本固有種である (阿部ら 1994). 国の天然記念物に指定されており, また国のレッドリストでは準絶滅危惧 (NT) に (環境省自然環境局 2007), 県のレッドデータブックでは県域準絶滅危惧種に (福井県福祉環境部自然保護課 2002), それぞれ指定されている.

ヤマネは山地帯から亜高山帯の成熟した森林に生息するが (阿部ら 1994), 家屋や山小屋の中で, 冬眠個体が発見されることもある (湊 1996).

福井県ではこれまで, 嶺北では大野市, 勝山市と南越前町 (旧今庄町), 嶺南では若狭町 (旧上中町) とおおい町 (旧名田庄村) において, ヤマネの生息が確認されているが (図 1), その記録は少ない (福井県福祉環境部自然保護課 2002).

今回, これまでヤマネの生息記録がなかった池田町において, 本種が保護されたので報告する. なお本種の生息は, 池田町に隣接する市町村のうち, 先述した大野市と南越前町のほか, 岐阜県揖斐川町 (旧藤橋村) において (大野・東海 2002), 記録されている.

保護状況

ヤマネは, 2009 年 11 月 9 日と 18 日の 2 回, 福井県今立郡池田町魚見の同じ家屋内で保護された (図 1;

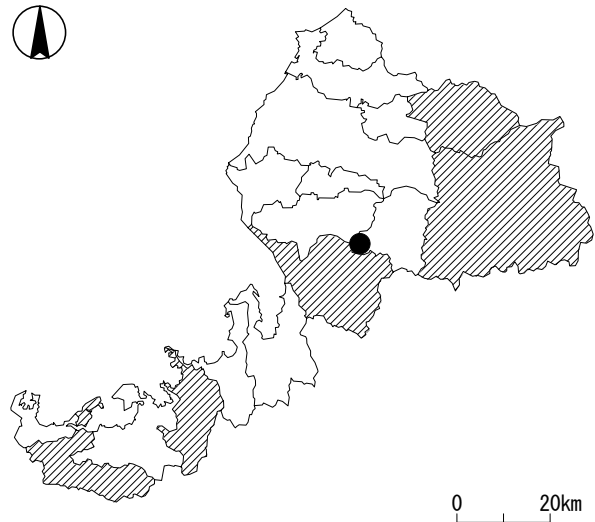


図 1 福井県におけるヤマネの生息記録. ●は本報告の確認地点を, 斜線部はこれまでにヤマネの生息が確認されている市町村を (福井県福祉環境部自然保護課 2002), それぞれ示す.

WGS84 datum, 35°50'40" N, 136°16'24" E; 標準地域メッシュコード 53366202; 標高 323 m). 保護現場の家屋は, 山ぎわの森林から, 道路を挟んで 10 m 程度離れていた. 家屋から最寄りの森林の植生はスギ人工林であったが, 5 m ほど奥からは雑木林が広がっていた.

ヤマネは, いずれもネコに捕獲されたところを, 家人により保護された. しかし, 11 月 9 日に保護され



図2 2009年11月9日に保護されたヤマネ。尾は一部が欠損しており、体毛も抜けている。2009年11月11日撮影。



図3 2009年11月18日に保護されたヤマネ。2009年11月20日撮影。

た個体は翌10日に死亡し、死体が福井県自然保護センターに届けられた。死亡個体は各所から出血が見られ、尾も一部欠損していた。11月18日に保護された個体は、生存した状態で傷病鳥獣として福井県自然保護センターに搬送されたが、20日朝までに死亡した。

個体の記録

保護個体の写真を図2, 3に、外部計測値を表1に示す。保護個体はいずれも外性器が発達しておらず、性別を判別することはできなかった。ヤマネの冬眠前の体重は34-40gとされているが(阿部ら1994)、保護個体の体重はその半分以下であったことから、いずれも若い個体と考えられた。なお、本件のヤマネは池田町教育委員会を通して文化庁へ届け出の後、標本として福井県自然保護センターで保管している。

表1 保護個体の外部計測値。

個体番号	1	2
保護月日	11月9日	11月18日
体重 [g]	11.2	14.2
頭胴長 [mm]	76.6	71.0
尾長 [mm]	(33.6) [†]	50.2
全長 [mm]	(110.2) [†]	121.2
耳長 [mm]	6.1	6.7
後足長 [‡] [mm]	15.8	16.5

計測項目の定義は、阿部ら(1994)に従った。

† 尾が欠損していたため、完全な長さではない。

‡ 爪なし。

謝辞

本件のヤマネは、池田町在住の長谷川浩氏に届けていただいた。ここに記してお礼申し上げる。

引用文献

- 阿部永・石井信夫・金子之史・前田喜四雄・三浦慎悟・米田政明. 1994. 日本の哺乳類. 東海大学出版会, 東京.
- 福井県福祉環境部自然保護課(編). 2002. 福井県の絶滅のおそれのある野生動物: 福井県レッドデータブック(動物編) 2002. 福井県, 福井.
- 環境省自然環境局野生生物課. 2007. 哺乳類, 汽水・淡水魚類, 昆虫類, 貝類, 植物Ⅰ及び植物Ⅱのレッドリストの見直しについて(平成19年8月3日付け報道発表資料). 環境省自然環境局野生生物課, 東京.
- 湊秋作. 1998. ニホンヤマネ. 野生動物救護ハンドブック編集委員会(編) 野生動物ハンドブック: 日本産野生動物の取り扱い. 文永堂出版, 東京. pp.175-178.
- 大野哲也・東海桂子. 2002. 旧徳山村本郷の水没地におけるヤマネの棲息について: 獣毛からの種の同定. 岐阜ふるさと動物通信 (106):1704-1707.